



**eSecuCard-S サンプル
表示カード 取扱説明書
(v1.0)**

Excelsecu Data Technology Co., Ltd.

ACOT Electronics Inc.

株式会社エクセルセクデータテクノロジーの機密情報

本マニュアル、いかなる性質の保証を行うものではありません。すべての製品および関連文書に開示されている資料は、正式に締結されたプログラム製品のライセンスまたは機器の購入またはリースに関する契約の条件に従ってのみ提供されます。

このマニュアルに記載されている製品に関して、ExcelsecuTechnology が行う唯一の保証は、あるとすれば、当該ライセンス、または契約書に記載されている物のみです。

Excelsecu テクノロジーは、お客様が本情報またはソフトウェアを使用した結果として生じる直接的、間接的、特別または結果的な損害を含む金銭的またはその他の責任を受け入れることができません。

この情報および/またはソフトウェア資料の使用が、使用されている管轄区の規則および規制に準拠していることを確認するように注意してください。無断転載を禁じます。

Copyright©2020Excelsecu Data Technology Co., Ltd. 全著作権所有

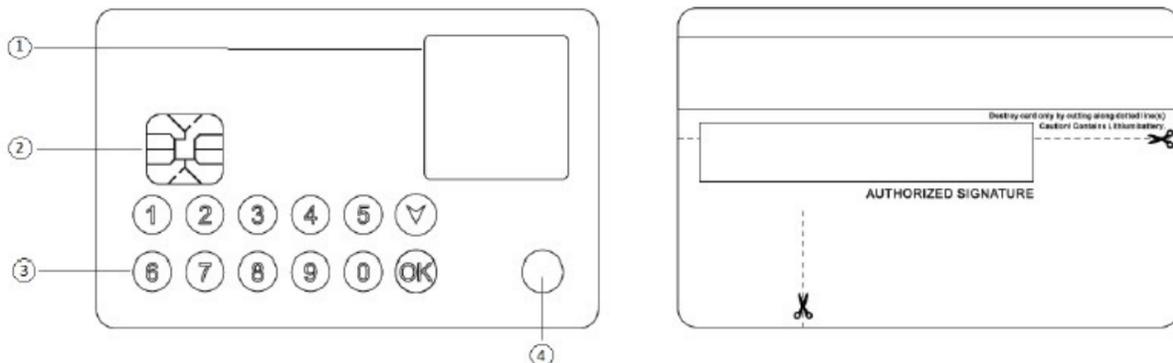
1. eSecuCard 入門

ESecuCard のバッテリー残量を確認し、低電力状態になっていないことを確認してから使用してください。低電力状態のときに eSecuCard が充電されることを確認してください。そうしないと、RTC が完全に失われます。

2. 安全上の注意

- eSecuCard の上に物を置かないでください。
- カードを故意に曲げないでください。
- 内部の部品が損傷する可能性があります。
- ESecuCard を可燃性の発生源から遠ざけてください。
- ESecuCard を水、アルコール、ベンゼンなどから遠ざけてください。
- eSecuCard を磁性体から遠ざけてください。
- ESecuCard を自分で分解または変更しないでください。
- eSecuCard を廃棄するには、製品の裏側の点線に沿って切り取ります。
- 低温状態では、表示されている画像を削除した後、影が残ります。

3. 製品写真



①EPD 画面、256*256 ピクセル。

②EMV チップ、バッテリー充電端子も。

③キーパッドをタッチします：0～9、OK、キャンセル。

④電源メカニカルボタン。

4. ESecuCard の使用方法

4.1 eSecuCard のオン/オフを切り替え

機械式電源ボタンを長押しして、電源のオン/オフを切り替えます。機械式ボタンなので、かなり強く押す必要があります。

電源投入後に、最初にパスワードを確認する必要があります。デフォルトのパスワードは 123456 です。正常に検証されると、起動が表示されますロゴを付けて BLE モードに入ります。

Bluetooth モードを参照してください。

(注：起動ロゴは拡張 API によって変更できます。JavaCard 拡張 API を参照してください)・

スタンバイ時間：2 分。

4.1.1 eSecuCard 機能メニュー

OK ボタンをタッチして機能メニューに入ります。

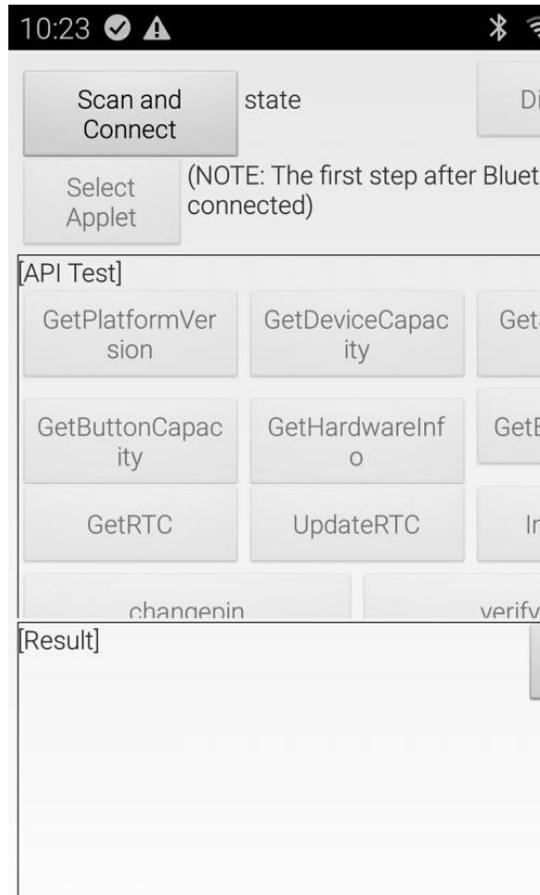
- Address QR コードとテキストを表示します。
- PIN eSecuCard の暗号番号を変更する
- About バージョン情報を表示する

4.2 モバイルアプリケーション

(注：eSecuCard をオンにする必要があります！)

4.2.1 デモアプリケーションのダウンロード

モバイルアプリケーションをダウンロードして開きます：Bigplatform.apk
これは単なるデモですが、できる限り多くのステップを表示する必要があるため、完璧なアプリではありません
eSecuCard の開発を示すため、ユーザーエクスペリエンスが 2 番目の考慮事項です



4.2.2 Bluetooth モード

電源投入後、自動的に Bluetooth モードになります。



1) 接続および切断します。[スキャンして接続]をクリックします。

www.excelsecu.com

-> SN の選択 : 229X000000XX

(注 : SN は各カードの裏面に印刷できます。)

-> eSecuCard は「BLEConnected」を表示し、左上に Bluetooth 接続のアイコンを表示します
スクリーン。

2) アプレットを選択します

-> Java アプレットを選択します。(注 : Bluetooth が接続された後の最初のステップ。)

3) API テスト (注 : 結果はモバイルアプリに表示されます)

- [GetplatformVersion]を使用して、JVM バージョンを取得します。
- [GetDeviceCapacity]を使用して、この eSecuCard のサポート機能を取得します。たとえば、Bluetooth、ディスプレイ、キーボード、RTC がサポートされています。
- [GetScreenParameter]を使用して、画面のサイズとフォントを取得します。
- [GetButtonCapacity]を使用して、サポートされているボタンを取得します。

- ・ [GetHardwareInfo]を使用して、BluetoothMAC アドレスとハードウェア ID の情報を取得します。
- ・ [GetBatteryState]を使用して、eSecuCard のバッテリーレベルを取得します。
- ・ [GetRTC]でリアルタイムを取得します。
- ・ [UpdateRTC]でリアルタイムに更新
- ・ [InquireKey]をクリックしてボタンの値を取得します
(注：「InquireKey」を押すと、モバイルアプリはボタンの値を待機し、ボタンを押すと eSecuCard が必要です。そうでない場合、タイムアウトエラーが返されます)
- ・ [changePIN]でPINを変更します。
- ・ [verifyPIN]でPINを確認します。

4) スクリーンテスト

- ・ [DisplayPic1][DisplayPic2][DisplayPic3]を使用して、カード内の既存の画像を表示します。
- ・ [WriteText]は、モバイルアプリからカードにテキストを書き込んで表示します。
- ・ [写真を書く]は、モバイルアプリからカードに写真を書き込んで表示します。
(注：1.この関数は既存の画像を上書きします。2.書き込み時間は約 30 秒になります。)
- ・ [Clearscreen]は、EPD 画面の表示をクリアします。
- ・ [RunDemo]を実行して、カード内のすべてのテキストとすべての画像を実行および表示します。

5) 結果

- ・ コマンドのすべての結果を表示します。

4.3 PC アプリケーション

(注：eSecuCard はオフにする必要があります！)

接触型および非接触型リーダーは eSecuCard でサポートされています。したがって、次の 2 種類のテストスクリプトがあります。

4.3.1 接触モード

ステップ 1：コンタクトカードリーダーを準備し、eSecuCard をリーダーに挿入します。

ステップ 2：eSecuCard は「連絡モード」を表示し、このモードで充電されます。

ステップ 3：eSecuCard をテストするために、contact-test-script の任意の 1 つのスクリプトを選択します。

注：「書き込みと表示」の画像/テキストには、カードへのデータの書き込みと画面へのデータの表示が含まれます。画像については、テキストは 3 秒ですが、時間は約 22 秒になります。「表示のみ」の画像は約 7 秒、テキストは 3 秒です。

ステップ 4：結果が返され、一般的なエラーは付録 1 を参照してください。

4.3.2 非接触モード

ステップ 1：非接触型カードリーダーを準備し、eSecuCard をリーダーに配置します。

ステップ 2：eSecuCard は「非接触モード」を表示します。

ステップ 3：eSecuCard をテストするために contactless-test-script の任意の 1 つのスクリプトを選択します。

注：「書き込みと表示」の画像/テキストには、カードへのデータの書き込みと画面へのデータの表示が含まれます。画像の場合、時間は約 10 秒、テキストは 3 秒になります。「表示のみ」の画像は約 7 秒、テキストは 3 秒になります。

ステップ 4：結果が返され、一般的なエラーは付録 1 を参照してください。

5. eSecuCard の充電方法

eSecuRD は、標準のコンタクトカードリーダーとしても提供されます。接触充電器として、これらはすべて標準を使用するように設計されています。スマートカードチップに連絡してください。

- 1) eSecuCard を eSecuRD に挿入します。青色の LED ライトが点灯します。充電を開始します。
- 2) ライトの色が変わり、ステータスを示します。

LED	Status
Red on	Power on Cannot read card
Blue on	Charging Can read card
Blue flashing	Charging Card data is being transmitted

*eSecuRD は標準のマイクロ USB 充電ケーブルを使用します。

*eSecuCard はコンタクトチップを使用して充電します

付録 1

次の表に、コマンドによって返される可能性のあるエラーステータスワードを示します。

以下はユーザーが変更できます

SW1	SW2	Meaning
6E	00	Invalid class
6D	00	Invalid instruction
67	00	Wrong length in Lc
6A	86	Incorrect P1 P2
69	82	Security status not satisfied
69	85	Conditions of use not satisfied
69	8A	Fail to setting (eg. bluetooth name)
69	8B	No images in card
69	8C	Fail to get device capacity
69	8D	Fail to update RTC
69	8E	Fail to clear screen
69	8F	Fail to display text or image

- ・ 以下はユーザーが変更することはできません

SW1	SW2	Meaning
93	00	No response by card
6F	F9	8 seconds timeout for card
6A	80	Incorrect format in command data
67	00	Incorrect length in command data
9F	FB	Wrong response by RTC